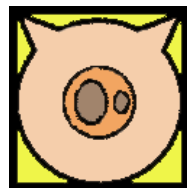
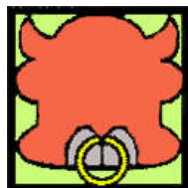
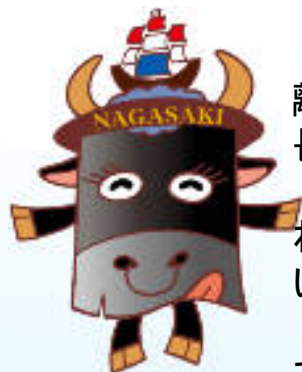


ながさきの畜産



豊かなふるさとを支えます。安全で美味しいお肉、牛乳、卵を届けます。



「かさべこくん」

長崎県は日本の本土最西端に位置し、地形は平坦地に乏しく、多くの半島と離島から形成され、海岸線の延長は4,178キロメートルにおよび北海道に次ぐ長さとなっています。

牛の歴史は古く、壱岐（原の辻）、五島（大浜）の貝塚から牛の骨が発掘されています。また、江戸時代には出島（長崎市）にオランダ商館が置かれていましたが、そこでは牛などが飼育されていました。

このように豊かな自然と畜産に長い歴史を持つ長崎県は、県内外へ、良質で安全な畜産物の供給基地となっています。

畜種	飼養戸数		飼養頭数	シェア	順位
	飼養戸数	順位			
乳用牛	123 戸	23位	6,170 頭	0.5%	26位
肉用牛	2,080 戸	8位	91,700 頭	3.4%	5位
豚	73 戸	14位	194,600 頭	2.2%	15位
採卵鶏	51 戸	13位	1,942 千羽	1.1%	26位
ブロイラー	50 戸	8位	3,024 千羽	2.1%	10位

注1) 飼養戸数・飼養頭数は令和5年2月1日現在「第1報」(畜産統計)

注2) シェア及び順位は全国値に対するもの

長崎県農業における畜産

本県の畜産は農業産出額の40%を占める重要な作目
肉用牛は19年連続第1位

本県の畜産は、農業産出額1,504億円(令和4年)のうち、596億円、40%を占める地域農業を支える基幹作目であり、飼料・食肉加工・流通分野など、関連産業の裾野が広く、地域の雇用の確保にも貢献しています。

農業産出額作目別順位(令和4年)

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	県計
肉用牛	豚	いちご	ばれいしょ	みかん	米	ブドウ	鶏卵	たまねぎ	生乳	億円
275	136	127	103	95	90	75	52	50	46	1,504

全国順位

5 15 4 3 6 40 12 27 4 28 23

第3期ながさき農林業・農山村活性化計画

「チャレンジ畜産600億の推進」

本計画は、10年後の本県の農林業・農山村の目指す姿を描きながら、今後5年間の施策の方向性を示すものです。(計画期間:令和3年度から令和7年度)

畜産については、「チャレンジ畜産600億の推進」を行動計画に掲げ、令和7年度の畜産産出額600億円の達成を目指し、次の3つの振興方策に沿って各種施策を展開します。

振興方策

1. 畜産クラスター計画等に基づく次世代に継承できる生産基盤の強化
2. ICTを活用したスマート畜産等によるコスト縮減と生産性向上
3. 畜産物の高品質化によるブランド力強化と販売の促進

第3期活性化計画KPI

項目	基準値 (平成30年度)	目標値 (令和7年度)
繁殖牛の分娩間隔	395 日	380 日
肥育牛(肉専用種去勢牛)の枝肉重量	504 kg	530 kg
経産牛1頭あたり年間生乳生産量	8,324 kg	8,800 kg
母豚1頭あたり年間肉豚出荷頭数	21.5 頭	25.0 頭



生体モニタリングシステム

畜産職とは

畜産業の振興のため、家畜の生産性向上、畜産環境対策、畜産物の品質向上や優良種畜の増殖育成に係る業務に従事しています



畜産行政、普及業務、試験研究及び肉用牛改良などの各分野で活躍しています。

- **畜産行政**は、畜産振興施策の企画立案、銘柄確立の推進などを行っています。
- **普及業務**は、各種畜産技術の普及指導、畜産農家の経営指導・分析などを行っています。
- **試験研究**は、飼養管理技術、飼料作物の生産管理技術などの調査研究や新技術の実用化などを行っています。
- **肉用牛改良**は、優秀な種雄牛の造成を行うとともに、育種情報を分析し、県内肉用牛の改良・指導を行っています。

畜産行政



畜産クラスター構築事業による牛舎整備



「平茂晴」顕彰式典並びに長崎県肉用牛振興大会(H31.2.8)



振興計画打合せ

5年に1度開催される和牛のオリンピックで日本一に輝き、近年ますます注目を浴びている長崎和牛をはじめ長崎県の畜産の魅力年全国的に広めるため、生産者や市町、農協などの関係機関と連携しながら品質や生産性の向上に取り組んでいます。私の主な担当は牛のエサとなる自給飼料の利用拡大。効率よく栽培できる優良品種が普及すれば、輸入飼料に依存せずすみませす。効率的な自給飼料生産により、長崎和牛の安定的な生産拡大を目指しています。



肉用牛の放牧（雲仙市）

普及業務

畜産農家と二人三脚で肉用牛の産地拡大を目指す

私は畜産の普及指導員として、主に畜産農家への技術や経営指導を行っています。大切にしているのは現場に足を運ぶこと。現場を見ることで、セリ（販売）成績データ等の数値を追うだけではわからないことが浮かび上がってくるからです。畜産農家の所得向上に向けて課題を明確にし、それぞれの経営規模に合った助言・指導を心がけています。



農家への経営指導

先輩からのメッセージ

長崎県は急傾斜地など条件不利地が多い中、そこに牛を放牧して農地を維持するなど工夫を凝らした畜産を行っています。整備した放牧場を牛が元気に駆け回り、草をはむ姿はとてもかわいいもの。畜産農家から「放牧してよかった」と喜んでもらえると苦労も吹き飛びます。一緒に長崎県の畜産を盛り上げましょう。



肉用牛ヘルパー組織の立上げ



「令和2年度（第59回農林水産祭天皇杯）」を受賞した松崎夫妻（小値賀町）

試験研究



私が勤務する畜産研究部門では、酪農や肉用牛、豚、鶏、飼料作物、畜産環境など畜産に関する試験研究を行っており、品質や生産性を高めることで、県内農家の所得向上などを目指しています。私は肉用牛を担当しており、牛の繁殖や飼育全般に関する研究をしています。肉質や肉量を向上させるための肥育方法を研究したり、飼料作物の栄養成分の分析も行っています。長崎県の畜産業の活性化のために、農家や消費者のニーズにあった技術開発に積極的に取り組んでいます。



県内唯一という自負と責任
好きな仕事で産業振興に
もっとなげていきたい。

養鶏試験研究



超音波肉質調査



畜産研究部門

肉用牛改良



検定育成班では、県内生産された種雄候補牛の育成管理をし、その産子を肥育することで能力評価を行っています。私はその中で能力評価の指標となる育種価解析を担当しており、県内で肥育された枝肉データを基に種雄牛や繁殖雌牛の産肉能力評価を行っています。また、種雄牛の広報も担当しています。

「長崎和牛」を支える超エリート種雄牛

宮城全共第7区 特別賞「交雑脂肪の形状賞」受賞



きんたろう

「金太郎3」号 (黒原5271)

平成20年7月 杏崎市勝本町生まれ

父: 平茂勝 祖父: 金幸

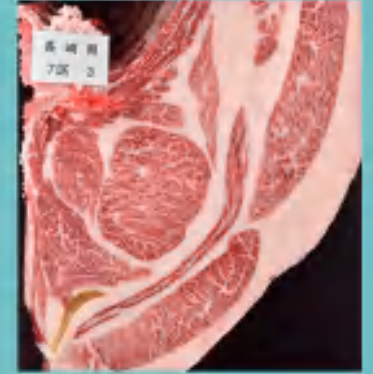
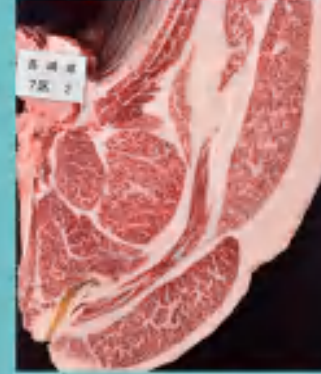
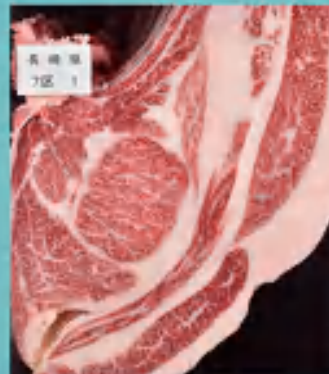
【産肉能力検定(現場後代法)の成績】

(去勢のみ) 枝肉重量 551.3kg

ロース芯面積 64.7cm²

BMS. No. 8.4

宮城全共第7区 肉牛の部の枝肉



枝肉調査



凍結精液検査

畜産職の主要な勤務先

